



## みんなの教育・藤沢ネット 夏の講演会 佐藤隆さん 都留文科大学教授 コロナ禍と教育～その危うさと希望～



講演する佐藤隆さん(上)と全体の様子



夏の講演会「コロナ禍と教育～その危うさと希望～」を7月23日(土)藤沢市民会館で行いました。参加者は52名でした。講演後半では参加者が小グループに分かれて話しあって質問を整理、その質問に講師の佐藤さんは時間いっぱい丁寧に応えてくださいました。寄せられた感想のいくつかを紹介します。

日本の教育の現状・課題をよく理解できました。少子化の社会、質の高い子供に適した教育環境を整えてほしい。娘が教員を目指して都留文科大学で学んでいます。現場の先生方は余裕がないと言っていました。教員の労働環境の改善も急務です。経産省に劣る文科省と聞き、教育最優先の日本となることを願います。子どもの権利を守る世の中になってほしいです。市民として何ができるか、考えていきたいです。

私も含め高齢の参加者が多かったので、今日のお話をどう生かせるのか、考えさせられました。でも一人の市民として、また孫の教育の問題として、関心を持ち続けることが大切なのだと思います。また実際の小学生の保護者の方で学校と話し合い、お子さんにタブレットを持たせていない方がいることを知り驚きました。応援したいと思いますが、現在子育て中の皆さんは本当に大変だなと思いました。わかりやすく重要な講演をどうもありがとうございました。

どれも大切な話と機会となりました。子どもの成長は待たないで、親も情報に翻弄されている気がします。ここでの学習をもっと、今の保護者に届ける、知らせることをしていくにはどうしたらいいのかなと思っています。

0.1×0.1 日本型高学力、ものすごく分かりやすいと共に自分の子育てに立ち止まって考える事ができました。まさに5年生の息子0.1×0.1 に立ち止まっています。父は"どうしてそうなるのか考えているから分からないんだ"という一方、やり方覚えてればカンタンなのに！と思っていた私、深く反省しました。GIGA スクール構想にギモンを持って、タブレットを受け取らず学校と対話をしつづけています。便利さを話され学校からは使わせるように言われていますが、やはり必要ないと確信できました。ありがとうございました。

今の教育が向かおうとしている方向があるのかが、よくわかりました。コロナ禍がそれを加速させてゆくのではないかと心配になりました。少人数で対話しながら共同作業しながら学び合う助け合う、そういう場と時間を、全てこれからの子どもたちに残さなくてはいけないと感じました。

### ご案内 スマホで講演のレジメ、音声を

スマートホンで右の QR コードを読み込み青い表示をタップする(軽くたたく)ことで、レジメの閲覧(pdf ファイル)、音声の再生(mp3ファイル)ができます。

(当会 HP の講演記事を表示します。)



## 県民教・夏の教育研究大会 対面で104名参加

県民教・夏の教育研究大会は8月21日（日）湘南学園小学校をお借りして、104名の参加で開催出来ました。コロナ禍で一昨年は中止、昨年はオンライン、本年は対面でできました。ひさしぶりの再会に喜び合いました。

記念講演では藤本和久慶応大学教授より「コロナ禍でみえた学校教育の課題」という演題で、子育て論、授業論、ICT教育論などを中心に学ぶことが出来ました。とりわけ小、中学生に一人一台のタブレットが配布され、学校の風景が変化し、ICT教育中心の教室になりつつある現状をリアルに報告されました。学校教育の内容には、ICT活用が有効なもの、そうでないものがある。よって教育委員会や校長の方針によってICTを使用することを強いられたりすれば本当の教育効果はあがらないのではないか。講演は現場の教師によりそった内容であり、今後の教育研究活動の参考になりました。

テーマ別分科会では「教師の日頃の思いを本音で語ろう」「子どもの居場所 ほどがや無料塾の実践」「コロナ禍で育つ子どもたちの様子」「ジェンダー教育の現状」など現代の課題も追求しました。

一般分科会では各教科研究団体の専門をいかしたユニークな教育実践の交流が出来ました。教育ネット会員の皆様も多数参加していただき、ありがとうございました。

（県民教＜神奈川県民間教育研究団体協議会＞委員長 杉本克彦）

※(参考) 1)藤本和久：GIGA スクールの進行で可視化された「授業」の慣行

<https://www.mita-hyoron.keio.ac.jp/features/2021/11-4.html>

2)ほどがや無料塾ホームページ <http://studyfreehodo.blogspot.com/>



(上) 記念講演の様子  
(右) 講師の藤本和久慶  
応大学教授  
(右は案内チラシから)



## 「国葬」 学校に弔旗掲揚等、「弔意」の表明を強制しないよう求める 要望書 藤沢市教育長に提出

岸田内閣は、9月27日に安倍元首相の「国葬」を実施することを閣議決定しています。みんなの教育・ふじさわネットは、8月30日、藤沢市教育長に、〈学校に弔旗掲揚等、「弔意」の表明を強制しないよう求める 要望書〉を提出しました。 要望内容は次の通りです。

### 記

1 仮に文部科学省等から、9月27日の安倍元首相の国葬実施にあわせて、学校等に弔旗掲揚を求める通知が発出されたとしても、民主主義と憲法擁護の観点から、子どもたちと教職員に「弔意」の表明を強制することがないように、各学校に弔旗掲揚等を求める通知など出さないこと。

なお、要望書の全文は当会のホームページでご覧いただけます。

◇藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会今後の開催予定 ※傍聴 10席

第4回 2022年10月27日（木） 14:00～15:30 市役所本庁舎3階3-3会議室

第5回 2023年2月10日（金） 10:00～11:30 市役所本庁舎3階3-3会議室

◇藤沢市教育委員会令和4年9月定例会 ※傍聴 20席

日時 2022年（令和4年）9月30日（金曜日）午後5時から

場所 藤沢市役所本庁舎5階5-1・5-2会議室

※1) 会議の予定の変更等は、教育委員会 HP でご確認ください。

※2) 藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会の会議録などは次のHPにあります。

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kyouiku/tekiseikibo.html> 上図はQRコード。

